

## パソコン教室の窓から (3)

NPO 法人コミュニティ NET ひたち  
久保 裕

### 「パソコン入門講座」へどうぞ

文字の印刷用のタイプライタがワープロ機になりパソコンが世の中に普及したのは1980年代になってからである。1984年アップル社はマッキントッシュを開発して現在のパソコンの原型をつくった。IBM PC/AT パソコンは世界のパソコンの標準となった。まだ4半世紀前のことである。その後マイクロソフト社は、1995年にWindows95を発売して本格的なWindows時代に入り、同社のWordとExcelは、ワープロソフトと表計算ソフトの標準となり、社会に普及すると同時に個人の「読み書きソロバン」の時代は完全に終焉した。

さらに各家庭の電話回線が光回線に置き換わり、さらに無線ネットワークの急速な発展により、パソコンはこのネットワークに接続されて、個人のパソコンは世界中のパソコンとつながり情報の検索や収集は、家庭にいても自由自在にできるようになった。現代のこのような大きな社会変革は第4次産業革命といわれている。

日立市がH30年1月に発表した「日立市情報化推進アンケート調査」によると、シニア世代(65歳以上)のスマホやパソコンなどの情報機器の利用率は30%台で、この情報化の時代に追いついていない。若い世代と大きな格差が生まれている。パソコンはどんどん進化して使いやすくなっている。そして高齢者でも安心して使える時代になっている。

私たち特定非営利活動法人(NPO)では、高齢者のパソコン初心者のために、いつからでも受講できる「パソコン入門講座」を開設している。講座の内容は、

- ・Windowsを操作してみよう
- ・キーボードで文字入力をマスターしよう
- ・インターネットで情報を収集しよう
- ・メールを送受信しよう
- ・パソコンのトラブルを解決しよう

などである。特に初心者のためにパソコンを上手に使いこなし、データの保存、再利用や印刷のしかたを理解するために、ファイルやフォルダの管理について、わかりやすく丁寧に指導している。

この講座は毎週木曜日午後1時から3時半まで月4回開催している。

お問い合わせは電話0294-33-0015「NPO法人コミュニティNETひたち」までどうぞ。場所はJR常陸多賀駅前前のJA多賀農協のショップ2階です(上図)

